

## 高知県薬剤師キャリア形成支援(学位取得支援)補助金【Q&A】

|            |                                                                                                                                                                                |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 対象病院について |                                                                                                                                                                                |
| Q 1        | 本社が県外にある場合、「対象病院」として登録することはできますか。                                                                                                                                              |
| A          | 法人所在地が県外の場合も、県内で開設している病院は、対象病院として登録できます。                                                                                                                                       |
| Q 2        | 登録はいつまでに申請すればよいですか？                                                                                                                                                            |
| A          | 登録申請はいつでも可能です。ただし、補助事業者が対象病院に勤務しながら学位を取得することが補助の条件ですので、対象病院に勤務する薬剤師が補助制度を活用するためには、当該薬剤師が県に事業計画書を提出する前に対象病院として登録する必要があります。                                                      |
| Q 3        | 登録の有効期間(3月31日まで)が失効したら、再度の申請をする必要がありますか？                                                                                                                                       |
| A          | 登録の失効までに登録の取り消しの申し出がない登録病院については、登録の有効期間が毎年1年間ずつ自動更新されますので、再度申請する必要はありません。<br>ただし、対象病院の要件を満たさなくなったとき、登録の取り消しを求めるとき、又は登録内容(病院の名称や所在地、補助制度を利用する薬剤師への支援内容等)に変更があったときは速やかに届け出てください。 |
| Q 4        | 登録された「対象病院」は公表されますか？                                                                                                                                                           |
| A          | 登録された対象病院は、県ホームページで公表します。                                                                                                                                                      |
| Q 5        | 補助事業者が学位を取得するために必要な配慮及び金銭的な支援とはどういったものですか？                                                                                                                                     |
| A          | <p>下記に例示する費用が、主な支援内容です。</p> <p>○配慮<br/>・学位取得に必要なオンラインでの講義受講、大学院への通学、学会参加等を行う際の勤務時間や勤務シフトへの配慮</p> <p>○金銭的な支援<br/>・入学料、授業料、研究に必要な経費、大学院への通学や学会に参加するための旅費等に対する金銭的な支援</p>          |

|                            |                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2 補助対象者(補助金の交付を受ける薬剤師)について |                                                                                                                                                                                                                                 |
| Q 6                        | 補助事業者の要件である「初年度の交付申請を行う年度の3月31日時点において、県内で薬剤師としての実務経験が5年以下であること。」とは、どの範囲を指しますか？                                                                                                                                                  |
| A                          | <p>県内又は県外の以下の事業所で薬剤師として勤務した期間が5年以下であることを指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療施設(病院、診療所)</li> <li>・薬局</li> <li>・介護保険施設(介護老人保健施設、介護医療院)</li> <li>・医薬品関係企業(医薬品製造販売業・製造業、医薬品販売業)</li> <li>・衛生行政機関又は保健衛生施設</li> </ul> |
| Q 7                        | 高知県外の出身者でも補助対象になりますか？                                                                                                                                                                                                           |
| A                          | 出身地は問いませんので、補助対象になります。                                                                                                                                                                                                          |
| Q 8                        | 県外在住者が県内の対象病院に勤務する場合、補助対象になりますか？                                                                                                                                                                                                |
| A                          | 住所地が県外の場合も、補助対象になります。                                                                                                                                                                                                           |

|      |                                                                                                                                                                                                                                 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Q 9  | 勤務先の病院から高知県薬剤師奨学金返還支援事業費補助金の支援を受けている薬剤師も、本補助金の補助対象者になりますか？                                                                                                                                                                      |
| A    | 補助対象者になります。<br>ただし、高知県奨学金返還支援制度と併用した場合は、本補助金の交付を受けた後、本補助金の通算の補助対象期間の2分の1以上を対象病院で勤務する場合の期間算定の条件等が異なる場合がありますので、事前に高知県薬務衛生課にご相談ください。                                                                                               |
| Q 10 | 補助対象期間中に、同一の医療法人等が経営する他の対象病院に転勤する場合、補助対象になりますか？                                                                                                                                                                                 |
| A    | 転勤先も対象病院として登録されている場合に限り、補助事業者として補助は継続されます。                                                                                                                                                                                      |
| Q 11 | 対象病院で勤務しながら、他の施設でも勤務する場合、補助対象になりますか？                                                                                                                                                                                            |
| A    | 原則、補助事業者の対象病院で勤務することを支援対象者の要件としていますが、以下の場合、兼務や出向が認められます。<br>また、兼務は、対象病院での勤務が勤務時間の2分の1を超えている必要があります。<br>・学校保健安全法(昭和33年法律第56号)第23条第2項に基づく学校薬剤師の業務<br>・薬剤師会が開設する休日夜間対応薬局に係る業務<br>・市町村が開設する休日診療所に係る業務<br>・県内の他病院への出向など特に知事が必要と認めた業務 |
| Q 12 | 専攻課程や研究室の条件はありますか？                                                                                                                                                                                                              |
| A    | 専攻課程や研究室の条件はありませんが、高知県の医療の質の向上への貢献が期待できる研究をすることが条件となっております。<br>また、オンラインを活用した遠隔指導等により、県内の病院に勤務しながら学位を取得することになりますので、希望する専攻課程や研究室がオンラインを活用した遠隔指導等の対応が可能か、事前に大学院にご確認ください。                                                           |
| Q 13 | 雇用形態はパートや嘱託職員でも補助対象になりますか？                                                                                                                                                                                                      |
| A    | 補助対象にはなりません。正規雇用の職員のみが支援対象となります。ただし、特殊な雇用形態の場合は、個別に相談ください。                                                                                                                                                                      |
| Q 14 | 支援対象者が補助対象事業終了後に、引き続き対象病院で勤務が必要な「通算の補助対象期間の2分の1以上の期間」はどのように算定しますか？                                                                                                                                                              |
| A    | 通算の補助金の交付を受けた期間を、年単位で1/2して算定します。なお、12ヶ月未満の期間が生じた場合は1年に切り上げて算定します。<br>(例1) 5年間、交付を受けた場合 $5年 \times 1/2 = 3年$<br>(例2) 4年間、交付を受けた場合 $4年 \times 1/2 = 2年$                                                                           |
| Q 15 | 出産・育児・介護等により大学院を休学した場合、どうなりますか？                                                                                                                                                                                                 |
| A    | 休学期間中は補助対象期間に含まれません。<br>出産・育児・介護その他知事が認める事由により、補助事業者が休学等をする期間については、通算の補助対象期間の最大5年間から、年度単位で延長することができますので、休学することがわかる書類(休学許可書等)を添付し、中止承認申請書を提出してください。                                                                              |
| Q 16 | 補助対象期間中に退学した場合、どうなりますか？                                                                                                                                                                                                         |
| A    | 補助対象期間中に対象大学院を退学した場合は、補助は打ち切りになります。その場合、廃止承認申請書を知事に提出し、承認を受ける必要があります。<br>なお、補助対象期間中に対象大学院を退学した場合は、それまでに受けた補助金を全額返還する必要があります。                                                                                                    |
| Q 17 | 補助対象期間中に対象病院を退職する場合、補助金の交付を受けることはできますか？                                                                                                                                                                                         |
| A    | 補助対象期間中に対象病院を離職する場合には、補助事業は打ち切りになります。その場合、廃止承認申請書を知事に提出し、承認を受ける必要があります。<br>なお、補助対象期間中に対象病院を離職した場合は、それまでに受けた補助金を全額返還する必要があります。                                                                                                   |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Q 18 | 補助金の交付を受けた後、通算の補助対象期間の2分の1未満の期間中に対象病院を退職した場合、それまでに受けた補助金を返還する必要がありますか？                                                                                                                                                                                                                   |
|      | <p>補助金の交付を受けた後、対象病院で勤務した期間に応じて、それまでに受けた補助金を返還する必要があります。5年間補助金の交付を受けた場合の返還額の算定は下記のとおりです。</p> <p>(例)5年間補助金の交付を受けた場合</p> <p>A ①補助金の交付を受けた後、1年未満で退職<br/>・5年間で受けた補助金を全額返還</p> <p>②補助金の交付を受けた後、1年以上2年未満で退職<br/>・5年間で受けた補助金の5分の3を返還</p> <p>③補助金の交付を受けた後、2年以上3年未満で退職<br/>・5年間で受けた補助金の5分の1を返還</p> |
| Q 19 | 「補助事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿」や「当該収入及び支出についての証拠書類」とはどういったものですか？                                                                                                                                                                                                                                |
| A    | 「補助事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿」とは、補助事業に係る補助金等の収入額や入学金や授業料等の補助対象経費の支出額を項目毎に整理したもので、「当該収入及び支出についての証拠書類」とは、収入額がわかる書類(通帳等)や支出額がわかる書類(領収書等)です。                                                                                                                                                       |

|              |                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 補助対象経費について |                                                                                                                                                                                                                     |
| Q 20         | 補助対象経費のうち、「研究に要する費用」とはどのような経費ですか？                                                                                                                                                                                   |
|              | <p>下記に例示する費用が、主な補助対象経費です。<br/>補助対象経費に該当するか不明なものについては、個別にご相談ください。</p> <p>A ・研究に必要な書籍(電子書籍を含む)、雑誌等を購入する費用<br/>・文献閲覧に係る費用<br/>・論文掲載料、論文を印刷製本するための費用<br/>・実習機器用消耗品費など1点あたり10万円未満(消費税込)の物品<br/>・学位取得のために必要な郵便料金、宅配料金</p> |
| Q 21         | 高知県が実施する他の補助制度との併用は可能ですか？                                                                                                                                                                                           |
| A            | 本県が実施する他の補助金と併用して受けることはできません。                                                                                                                                                                                       |
| Q 22         | 県内の市町村が独自で行っている補助制度と併用は可能ですか？                                                                                                                                                                                       |
| A            | 県内市町村が独自で行っている補助制度と併用して受けることができます。<br>ただし、他の地方公共団体や企業等の規定で県の補助金との併用を不可としている可能性がありますので、ご利用を検討されている団体等の補助制度を確認してください。                                                                                                 |
| Q 23         | 補助対象期間は最大5年間ですが、令和8年4月に大学院に入学する場合、いつまで交付を受けられますか？                                                                                                                                                                   |
| A            | 交付決定を受けた日の属する年度から起算して5年間となるため、令和8年4月に大学院に入学する場合、入学金を納入する令和7年度から令和12年3月31日まで補助を受けられます。<br>ただし、交付申請書は、毎年度、提出する必要があります。                                                                                                |
| Q 24         | 補助金交付決定前に支払った入学金や授業料も補助対象ですか。                                                                                                                                                                                       |
| A            | 補助金交付決定前に支払った経費については、補助の対象に含まれません。<br>入学金、授業料などは補助金交付決定後に支払ってください。                                                                                                                                                  |

|                |                                                      |
|----------------|------------------------------------------------------|
| 4 交付申請手続き等について |                                                      |
| Q 25           | 対象大学院の入学試験前までに事業計画書を提出することとありますが、事業計画書の提出開始時期はいつですか？ |
| A              | 募集期間を薬務衛生課のホームページで公開しますので、募集期間内に事業計画書を提出してください。      |

|                                                                                                                                                                                                                                                                              |                       |              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------------|
| Q 26 補助金は先着順ですか？                                                                                                                                                                                                                                                             |                       |              |
| A 募集人数以上の応募があった場合は選考により決定します。                                                                                                                                                                                                                                                |                       |              |
| Q 27 事業計画書を提出し、補助事業の候補者として決定されましたが、大学院入学試験に不合格となった場合はどうなりますか？                                                                                                                                                                                                                |                       |              |
| A 大学院入学試験に不合格となった場合は、補助対象者となりませんので、事業計画取下書を提出してください。                                                                                                                                                                                                                         |                       |              |
| Q 28 大学院の2次募集も本制度の対象になりますか                                                                                                                                                                                                                                                   |                       |              |
| A 大学院の1次募集で本補助制度の募集人員が充足しなかった場合のみ、2次募集も対象となります。なお、大学院の2次募集で本補助制度の募集を行う場合は、薬務衛生課のホームページで募集期間を公開します。                                                                                                                                                                           |                       |              |
| Q 29 翌年度も引き続き、補助を受けるためには、交付申請が必要ですか？                                                                                                                                                                                                                                         |                       |              |
| A 補助金の交付を受けようとするときは、毎年度、交付申請が必要です。翌年度の4月から授業料等を支払う必要がある場合は、4月上旬に交付決定を受ける必要があるため、交付申請は、前月の3月中にお願いします。交付決定手続きには時間を要しますので、余裕をもった申請をお願いします。                                                                                                                                      |                       |              |
| Q 30 実績報告書に添付する領収書等は原本を添付する必要がありますか？                                                                                                                                                                                                                                         |                       |              |
| A 履修実績報告書は指導教授の署名がある原本を提出してください。その他の書類(領収書等)についてはコピーの提出でかまいません。                                                                                                                                                                                                              |                       |              |
| Q 31 実績報告書に添付する領収書の宛名等はどうすれば良いですか？                                                                                                                                                                                                                                           |                       |              |
| A 領収書の宛名は、補助事業者の氏名が記載されたものとし、支払内容(書籍の場合は書籍名称等)がわかるものを提出してください。                                                                                                                                                                                                               |                       |              |
| Q 32 申請書等に押印は必要ですか？                                                                                                                                                                                                                                                          |                       |              |
| A 申請書への押印は不要です。                                                                                                                                                                                                                                                              |                       |              |
| Q 33 納税証明書はどこで発行が受けられますか？                                                                                                                                                                                                                                                    |                       |              |
| A 県税事務所で発行されますので、下記にお問い合わせください。                                                                                                                                                                                                                                              |                       |              |
| 県税事務所                                                                                                                                                                                                                                                                        | 所在地                   | 電話番号         |
| 安芸県税事務所                                                                                                                                                                                                                                                                      | 安芸市矢ノ丸1-4-36(安芸総合庁舎)  | 0887-34-1161 |
| 中央東県税事務所                                                                                                                                                                                                                                                                     | 高知市大津乙1820-1          | 088-866-8500 |
| 中央西県税事務所                                                                                                                                                                                                                                                                     | 高知市丸の内1-7-52(高知県庁西庁舎) | 088-821-4651 |
| 須崎県税事務所                                                                                                                                                                                                                                                                      | 須崎市西古市町1-24(須崎総合庁舎)   | 0889-42-2366 |
| 幡多県税事務所                                                                                                                                                                                                                                                                      | 四万十市中村山手通19(幡多総合庁舎)   | 0880-35-5972 |
| Q 34 県税完納情報に係る同意書(※1)及び本人確認書類の写し(※2)は、何を提出したらよいですか。                                                                                                                                                                                                                          |                       |              |
| <p>※1: 税務課が別に定める「県税完納情報提供事務処理要項」における第4号様式をご提出ください。</p> <p>※2: 申請者が個人の場合は、マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証の写し等をご提出ください。申請者が法人の場合は、法人代表者のマイナンバーカード、運転免許証、健康保険証の写し等をご提出ください。</p> <p>(注) マイナンバーカードは、表面のみコピー(裏面はマイナンバーの表示があるため提出は不可。)、健康保険証の保険番号及び被保険者等記号・番号は復元できない程度にマスキング処理を施す等してください。</p> |                       |              |

|      |                                                                                                                                                                                         |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Q 35 | 申請書の様式や記載例はありますか。                                                                                                                                                                       |
| A    | 高知県薬務衛生課のホームページに掲載しています。<br>県ホームページのトップページ→「高知県キャリア形成支援(学位取得支援)補助金」で検索<br><a href="https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025070300124/">https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025070300124/</a> |
| Q 36 | 補助金はいつ支払われますか。                                                                                                                                                                          |
| A    | 各年度の実績報告書を提出していただき、県が補助事業が実施されていることを確認した後に支払います。<br>ただし、入学金及び授業料(施設費を含む)については、概算払による年度途中での支払いが可能です。                                                                                     |

|                  |                                                                                             |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 補助事業の実績報告等について |                                                                                             |
| Q 37             | 実績報告書に押印は必要ですか？                                                                             |
| A                | 実績報告書には押印は不要ですが、履修報告書に指導担当教授の署名が必要です。                                                       |
| Q 38             | 実績報告書は、いつまでに提出が必要ですか？                                                                       |
| A                | 各年度の補助対象期間終了の日から30日以内、又は当該年度の3月31日のいずれか早い日までに提出してください。                                      |
| Q 39             | 「大学院に在学することを証する書類」や「学位を取得したことを証する書類」はどういった書類を提出すれば良いですか？                                    |
| A                | 「大学院に在学することを証する書類」は大学院の発行する在学証明等を、「学位を取得したことを証する書類」は学位記の写しを提出してください。                        |
| Q 40             | 5年の補助事業終了後、補助事業者が引き続き3年間勤務した場合、書類の提出が必要ですか？                                                 |
| A                | 5年の補助事業終了後、補助対象期間の2分の1以上の期間(5年+3年=8年)、補助事業者の対象病院で勤務する要件を満たすことから、在職証明書を添付し、事業完了報告書を提出してください。 |